

こんしゅう とき
今週のことば「その時」

せいしょ ふくいんし
《聖書》マルコによる福音書 13:33-37

たい こう せつ 待降節

たいこうせつ はい きょう
いよいよ待降節に入ります。今日から
きょうかい あたら とし
教会のこよみは新しい年になります。そ
れなのに、今日の福音は世の終わりにつ
きょう ふくいん よ お
いて述べています。これは人々が救い主
の ひとびと すくぬし
を待ち望んでいたように、キリスト者も
ま のぞ シャ
イエス・キリストの再臨を待ち望んでい
さいりん ま のぞ
るからです。待降節はイエス・キリスト
たいこうせつ
の誕生を待つ季節ですが、現代のキリス
たんじょう ま き せつ げんだい
ト者にとっては、同時にイエス・キリス
シャ どうじ
トの再臨を待つ季節でもあります。
さいりん ま き せつ
でも、私たちは何を期待して待ってい
わたし なに き たい ま
るのでしょうか。イエス・キリストが現
げん
だいしゃかい しよもんだい かいけつ
代社会の諸問題をすべて解決してくれる
き たい ま
ことを期待して待っているのでしょうか。
き たい ま
イエス・キリストが私たちの期待に答え
わたし き たい こた
ないことはすでにあきらかです。それな
たいこうせつ あいだ なに
ら、この待降節の間に何をすればいいの
でしょうか。

とき その時

イエスは、「その時は、だれも知らな
とき し
い。気をつけて、目を覚ましていなさい」
き め ま
と私たちに呼びかけます。イエスの時代
わたし よ し だい
ひとびと とき
の人々のように、その時が、いつ、どの
く し ばい かんが
ようにして来るかを心配し、考えること
じ かん ろうりょく つか いま
に時間と労力を使うよりも、今どうする
たいせつ
かが大切なのです。
ま けつ しゅうきょく とき こうどう
「待つ」ことは、決して消極的な行動
だれ なに
ではありません。ただ、誰かが何かをし
ま じ ぶん
てくれることを待つのではなく、自分も
できるだけのことをして待つことが大切
たいせつ
です。
め ま じ ぶん げん
「目を覚ます」ことは、自分たちの現
じゅう み じ ぶん まわ
状をよく見ることです。自分たちの回り
お
でどのようなことが起こっているか。そ
ふくいん て
れは福音に照らして、ふさわしいことか、
じ ぶん
ふさわしくないことか。自分たちにでき
なに かんが じつこう
ることは何かを考え実行してみましょう。
たいこうせつ だい しゅじつ ねん たきの
待降節第1主日B年(滝野)